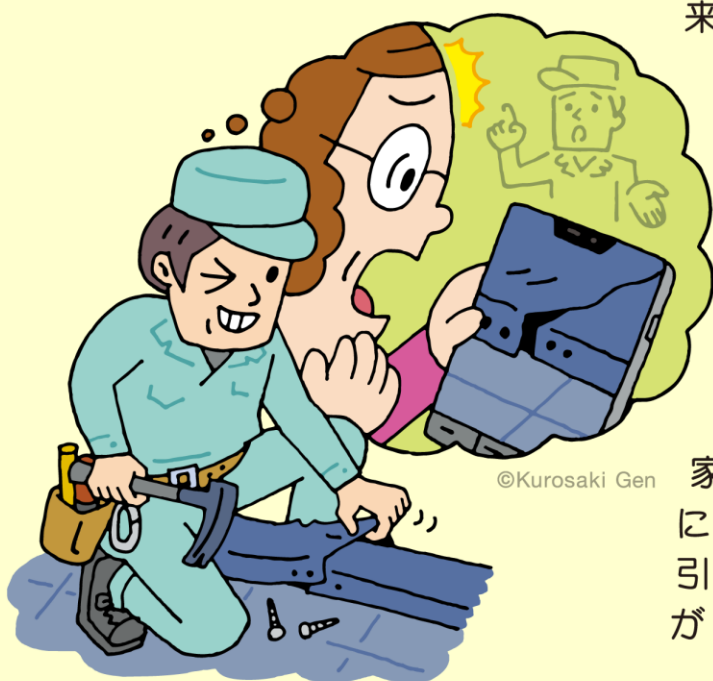


見守り
新鮮情報

点検中に 屋根を壊された？ 点検商法に注意



©Kurosaki Gen

近所で工事しているという事業者が
来訪し「お宅の**屋根**が
めくれているのが見えた。
屋根に登って**点検**する」
というので依頼した。
点検後、**屋根が浮いて
いる写真**を見せられ、
そのままにしておけない
と思い、約30万円の
修理を契約した。その後、
家族の勧めでハウスメーカー
に**確認**してもらおうと「釘を
引き抜いたような**新しい傷**
がある」と言われた。
(60歳代 女性)

ひとこと助言

慎重にね



見守るくん

- 突然訪問してきた事業者に安易に点検させないようにしましょう。点検箇所をわざと壊して撮影し勧誘するなど、悪質なケースもみられます。
- 点検後に修理を勧められてもその場で契約しないようにしましょう。別の専門家に確認を依頼したり、複数の事業者から見積もりを取ったりするとよいでしょう。
- 家族や周囲の人は、不審な人物が来ていないか、見慣れない書面がないかなど、高齢者の様子に気を配りましょう。
- 工事終了後でも、クーリング・オフできる場合があります。困ったときは、すぐにお住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください(消費者ホットライン188)。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第419号(2022年4月26日)発行：独立行政法人国民生活センター

米子市消費生活相談室

☎0859(35)6566